

ふるさといまり防災通信

伊万里市では、風水害、地震・津波災害、原子力災害などによる被害を最小限にするため、これまでの経験を踏まえ、常日頃から防災対策を進めています。

しかし、災害はいつどこで発生するかわかりません。被害を最小限に抑えるためには、市民の皆様が防災意識を高めていただき、事前に対策を考えていただくことが大切です。

この防災通信は、防災に関する知識の普及啓発を目的に発行するもので、初回のVol. 1は災害時の避難に関することなど日頃の備えや災害が発生した場合の対処方法などをまとめました。

この防災通信を身近なところに備えていただき、家庭や地域の防災対策にご活用ください。

災害時の避難のポイント

① 危機が迫る前に早めに避難

災害から命を守る最も確実な方法は、災害にあわないようにする、すなわち「早めの避難」です。災害が迫ったとき、各世帯の家族構成や自宅周辺の状況など、置かれた状況は一人ひとり違います。それぞれが自ら状況を判断し、適切な行動をとらなければなりません。

② 避難に関する3つの情報

災害の危険が迫り、避難が必要になった場合、市は避難情報（避難準備情報・避難勧告・避難指示）を発令します。避難情報が発令されたら、すみやかに避難行動を取れるようにしておきましょう。

①避難準備情報

人的被害の発生する危険性が高まった状況です



- 気象情報に注意し、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めてください。
- 避難に時間がかかる高齢者などの要配慮者やその支援者は避難を始めてください。

②避難勧告

人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況です



- 災害のおそれのある地域にお住まいの方は、すみやかに避難所などの安全な場所へ避難してください。

③避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいは、人的被害が発生した状況です



- まだ避難していない方は、直ちに避難をしてください。
- 屋外が危険な場合は自宅の2階など高いところに避難するなど命を守る最低限の行動を取ってください。

③ 命を守る最低限の行動を

すでに避難経路が浸水しているときなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難はできるだけ避けなければなりません。このような場合は、避難所への移動（水平避難）だけでなく、自宅の2階や近隣建物の2階への移動（垂直避難）を行うなど、命を守る最低限の行動を取ってください。

日ごろの備えが被害を減らすカギ

実際に風水害や地震などが発生したときのことを想定して、あなたとあなたの家族を守るため、各自ですべきことや避難場所、連絡方法などを家族で話し合い、事前にどのような備えをすればよいのか考えましょう。

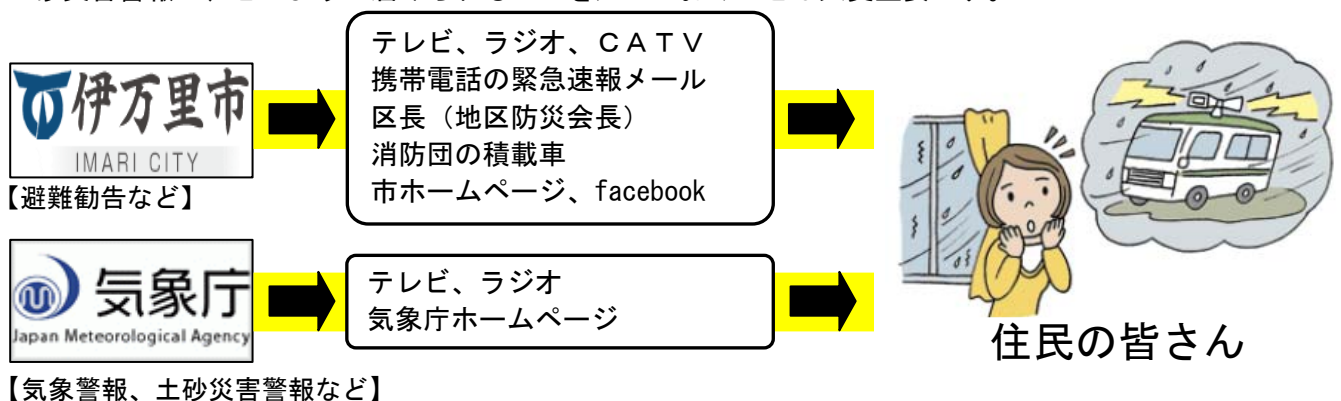
① 危険箇所や避難所、避難ルートを確認しましょう

昨年度までに行政区より各戸配布された「わがまち・わが家の防災マップ」を利用し、災害時の危険箇所や避難所、避難ルートを確認しましょう。



② 災害情報の入手先を確認しましょう

大雨や台風するときなどに市から発令される避難勧告などの情報や、気象庁から発表される気象警報や土砂災害警報が、どのように届けられるのかを知っておくことは大変重要です。



「防災ネットあんあん」に登録しましょう

佐賀県では、携帯電話などのメール機能を使って各種防災情報を配信する「防災ネットあんあん」を運用しています。災害時にいち早く情報を入手できるので、ぜひご利用ください。

○配信情報の種類

気象注意報・警報、地震、台風情報などの防災情報、火災情報など

○利用登録の方法

利用者の携帯電話などに登録サイトアドレス (<http://esam.jp>) を直接入力するか、右図のQRコードを読み取り、ガイダンスに従って登録します。

「防災ネット
あんあん」
(QRコード)



③ 災害後の連絡手段について話し合いましょう

洪水や地震などの大災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」・「災害用伝言板」が開設されます。災害時に安否確認ができるよう、家族や知人と連絡方法について事前に決めておきましょう。

災害用伝言ダイヤル

被災地の方が自宅の電話番号で安否情報（伝言）を音声で録音（登録）することで、全国からその音声を再生（確認）することができます。

伝言の録音
171+1+電話番号（市外局番から）

伝言の再生
171+2+電話番号（市外局番から）

※公衆電話、携帯電話も利用できます。

災害用伝言板

携帯電話のネット上に被災地の人々の安否情報を登録でき、全国からその伝言を確認することができます。

災害用伝言板の「登録」を選択し、伝言を入れる。
※「登録」は、被災地域内の携帯電話・PHSからのみアクセスできます。

災害用伝言板の「確認」を選択し、安否を確認したい相手の携帯電話・PHS番号を入力する。
※「確認」は全国からのアクセスが可能で、パソコン等からも行えます。

非常持出品・備蓄品を準備しましょう

非常持出品・備蓄品の準備は、防災対策の基本です。災害発生時に最初に持ち出す「非常持出品」と、災害から復旧するまでの数日間を支える「備蓄品」に分け、家族構成に合わせて必要な分だけ準備しましょう。

① 非常持出品

<p>食料・飲料水</p> <p><input type="checkbox"/> 飲料水 (500ml ペットボトル程度)</p> <p><input type="checkbox"/> 乾パン・クラッカー・缶詰 など、火を通さないで食べられる物 など</p> 	<p>緊急・安全関係</p> <p><input type="checkbox"/> 救急医薬品 (ばんそうこう、傷薬、包帯など)</p> <p><input type="checkbox"/> 薬 (処方箋、お薬手帳など)</p> <p><input type="checkbox"/> ヘルメット など</p> 	<p>貴重品</p> <p><input type="checkbox"/> 現金</p> <p><input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑</p> <p><input type="checkbox"/> 健康保険証</p> <p><input type="checkbox"/> 免許証 など</p> 
<p>日用品</p> <p><input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ</p> <p><input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 筆記用具</p> <p><input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り</p> <p><input type="checkbox"/> ティッシュペーパー など</p> 	<p>衣類など</p> <p><input type="checkbox"/> 衣類 (下着、上着など)</p> <p><input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 毛布</p> <p><input type="checkbox"/> 長ぐつ <input type="checkbox"/> スリッパ など</p> 	<p>その他</p> <p><input type="checkbox"/> 洗面用具 (歯ブラシ、石けん)</p> <p><input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> ランタン など</p> 

★★ こんな用意もしておきましょう ★★

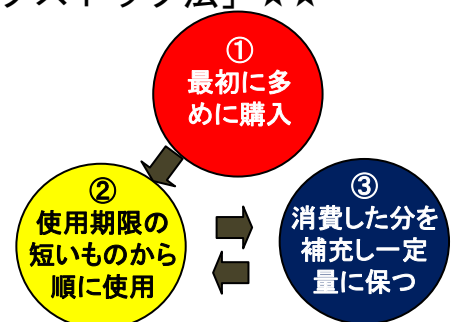
<p>乳幼児がいる家庭</p> <p>粉ミルク、ほ乳瓶、離乳食、紙おむつ、おしりふき、バスタオル、母子手帳など</p>	<p>妊婦がいる家庭</p> <p>生理用品、ガーゼ、さらし、新生児用品、母子手帳など</p>	<p>要介護者がいる家庭</p> <p>紙おむつ、介護用品、入れ歯、補助具の予備、常備薬、障害者手帳など</p>
--	--	---

★★ これは便利！使いながら備蓄する「ローリングストック法」★★

災害用の保存食を大量に備蓄することは大変です。

「ローリングストック法」とは、缶詰やインスタント食品、レトルト食品など普段利用している食品を多めに購入しておいて、使用した分だけこまめに買い足し一定量を備蓄する方法です。

食料や飲料水のほか乾電池やカセットコンロのボンベなどにも活用でき、消費期限切れを防ぐ効果もあります。



①で初めて②と③を繰り返す

② 備蓄品

<p>食料・飲料水</p> <p><input type="checkbox"/> 飲料水 (1人1日3ℓを目安)</p> <p><input type="checkbox"/> 米 (レトルトのご飯なども便利)</p> <p><input type="checkbox"/> 粉ミルク・離乳食</p> <p><input type="checkbox"/> ペットフード など</p>	<p>燃料・日用品など</p> <p><input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> 衣類 (下着、上着)</p> <p><input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 新聞紙</p> <p><input type="checkbox"/> ブルーシート <input type="checkbox"/> 布製ガムテープ</p> <p><input type="checkbox"/> 割りばし <input type="checkbox"/> なべ など</p>
--	--

※ 災害復旧までの数日間(3日以上)自ら生活できるように準備しておくものです。

※ 被害を受けにくく、非常時でも取り出しやすい場所に保管しておきましょう。

わが家の防災メモ

あらかじめ記入し、家族みんながわかるところに置いておきましょう。

火事・救急
119

警察
110



緊急通報は落ち着いて！

① 緊急連絡先

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
伊万里市役所	23-2111	電力会社	
伊万里市水道部	23-5400	ガス会社	
伊万里消防署	119 または 23-2119	かかりつけ病院	
伊万里警察署	110 または 23-3144		
伊万里土木事務所	23-4151		

② 緊急時用家族データ

名前	電話番号	生年月日	血液型	持病・アレルギー・常備薬など

③ 親戚・知人の連絡先

名前	電話番号	名前	電話番号	名前	電話番号

④ 避難場所・集合場所

避難場所	家族が離ればなれになったときの集合場所

ふるさといまり防災通信 Vol. 1 (平成27年8月発行) (イラスト出典: 広島県HP)

発行: 伊万里市防災危機管理課 電話23-2130 FAX22-7213

URL: <http://www.city.imari.saga.jp/>

※ふるさといまり防災通信は、市役所、各町公民館、市民図書館、市民センターで配布しているほか、市ホームページからもダウンロードできます。